

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考								
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等							
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員を始めとした商工会職員が、一般的に経営基盤が弱いとされる小規模零細企業を中心に訪問、金融・税務・労務等経営全般に関し相談を聴き、対応・指導をすることで経営の改善を図る。さらに業績向上につながる課題を把握しその解決のために対策を提案する。また創業予定者等経営全般に係る悩みを持った方達に対し相談窓口を設置し、経営に資する指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導 実企業指導件数 75件 年間相談指導件数 146件 非会員実企業指導件数 3件 年間相談指導件数 3件 窓口指導 実企業指導件数 398件 年間相談指導件数 2197件 非会員実企業指導件数 53件 年間相談指導件数 140件 創業相談指導 巡回 実企業指導件数 0件 年間相談指導件数 0件 窓口 実企業指導件数 3件 年間相談指導件数 3件 非会員実企業指導件数 1件 年間相談指導件数 1件 課題解決提案件数 49件 経営革新承認件数 0件 	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 206.9 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 163.3 %)			商工会職員による事業所への訪問と相談窓口の設置により、専門的な指導の実施や情報提供、機能の充実強化が図られ小規模事業者、会員事業所の問題点・改善点を提案できた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	目標数値・実施方法については現行通りとし、実企業指導件数を増やすように努める。	○
				目標数値	1,134	実績数値	2346	目標数値	30	実績数値	49					A	A	必要性	実施方法①	実施方法②		
記帳継続指導事業	商工会の職員が小規模零細企業等を対象に正しい記帳の仕方、決算・確定申告の指導を行い適正な税務申告に結びつける。また、経理の自主化を促し計数管理による経営力の向上に結びつける。	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 122件 指導延日数 688日 指導延回数 1,663回 確定申告書受付数 289件 	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 93.8 %)			指標	商工会 確定申告書受付数 (達成度 96.3 %)			事業者の記帳事務の省力化を回り、期限内申告の適正化につながった。また、細部にわたる指導を行うことで複式簿記での青色申告特別制度の特典を受けさせ、試算表による指導分析を職員が行うことで経営力の強化支援になった。	総合評価	B	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。1件でも多く事業所数を増やすよう努める。	
				目標数値	130	実績数値	122	目標数値	300	実績数値	289					B	B	必要性	実施方法①	実施方法②		
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務・労働等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図ることで、多様化する経営環境に対応するための柔軟な思考力を身につけ、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって有意義な講習会を開催した。 集団講習会 年6回 33人（うち小規模事業者25人） 個別講習会 年47回252人（うち小規模事業者24人） 合計 年53回285人（うち小規模事業者269人） 	小規模事業者	指標	講習会終了者数 (達成度 112.1 %)			指標	講習会開催数 (達成度 106.0 %)			経営に必要な知識の習得や経営改善・技術革新に役立つ情報の収集をすることができ地域小規模事業者の経営安定・発展に寄与した。	総合評価	A	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	コロナウイルス感染対策に努め、現行どおり実施する。更なる出席率の向上に努める。	○
				目標数値	240	実績数値	269	目標数値	50	実績数値	53					A	A	必要性	実施方法①	実施方法②		
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 青年部：東尾張支部内の7商工会共同開催による活動推進研修会をオンラインにて開催。（3人参加予定であったが、諸事情により欠席） 女性部：東尾張支部内の7商工会共同開催による活動推進研修会は中止した。 	小規模事業者を中心とする若手後継者等	指標	講習会等への参加人数 (達成度 - %)			指標	講習会開催数 (達成度 %)			-	総合評価	-	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	R2年度はコロナウイルス感染症拡大防止などのため実績は0であったが、感染症対策を講じて参加人数を増やすように努める。目標数値・実施方法については現行どおりとする。	
				目標数値	15	実績数値	-	目標数値		実績数値						-	-	必要性	実施方法①	実施方法②		
若手後継者等育成事業	講演会の開催、全国大会の参加を通じて地域の発展に寄与できる人材育成を目的とする。講演会により経営について正しく理解し、また経営知識と教養を深める。商工会青年部全国大会に参加し他地域青年部員との交流を図り地域の違いによる事業や青年部活動の差を知り、先見性と多様性を備えた後継者としての素質を高める。子ども商店街で子ども達に商売について学んでもらう事で将来の事業主候補を育成する。地域の子どもの達と事業をすることで、青年部活動、部員の自社と地域事業者を広く周知させ、地元での消費・地域経済の発展に寄与できる。	<ul style="list-style-type: none"> 後継者としての素質を高め、経営者としての知識を深めるため、講演会「経営について」を開催した。（6人参加） 子ども商店街は開催方法をオンラインに変更して実施した。オンライン子ども商店街による地域復興事業として、協力事業者の仕事内容などをオンラインにて配信した。2回開催、青年部員：12人、地域商工業者：2人、子ども延103人 女性部の講演会は中止した。商工会青年部全国大会は中止となった。 	小規模事業者を中心とする若手後継者等	指標	講演会等への参加人数 (達成度 30.0 %)			指標	講演会参加者満足度 (達成度 125.0 %)			講演会を通じて経営について正しく理解することができ、今後の自社の発展の一助となった。商工会青年部員・地域事業者がオンライン配信の準備を行う等新たな分野の中で自らも成長できた。さらに子ども達及びその家族に青年部活動を広く周知させ、地域の事業者を知ってもらう事で、地元での消費につながり地域経済の発展に寄与できた。	総合評価	B	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	実施方法を変更し参加人数の目標数値も下げる。女性部の講演会は実施しないこととする。青年部事業にはオンライン子ども商店街を加えて実施する。	
				目標数値	20	実績数値	6	目標数値	80 (%)	実績数値	100 (%)					B	B	必要性	実施方法①	実施方法②		
地域産業祭事業（ながくて市民まつり）	地域内事業者数並びに人口が増加している中、まつりの集客力を活かして地域コミュニティの活性化を図り、本市内の商工業を地域住民へ紹介・PRすることを目的とする。	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）ならびに住民	指標	来場者数 (達成度 - %)			指標	出店件数 (達成度 - %)			-	総合評価	-	事業評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	商工祭に変更する。コロナウイルス感染症対策として、祭りの規模を縮小して行う。	
				目標数値	20,000	実績数値	-	目標数値	20	実績数値	-					-	-	必要性	実施方法①	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		
観光振興事業 （長久手古戦場桜まつり）	地域振興の一助として、昨今の戦国時代ブームを利用し本市の恵まれた歴史的財産を活かした観光事業を行う。本市を『小牧長久手の戦い』の“長久手”として広くPRするとともに、住民間に交流の場を提供し地域の活性化と文化振興に寄与する。	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	小規模事業者を中心とする地域内事業者ならびに住民	指標 来場者数 (達成度 - %)	指標 (達成度 %)	-	総合評価 -	事業評価 -	自己評価 -	調査結果 -	満足度 -	補足 -	目標① 廃止	目標② -	R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 R4年度は未定。		
商店街振興事業 （ながくて商店街事業）	平成19年度から3年間、がらみはる商店街事業として実施してきた「ながくて商店街事業」について、継続して維持管理運営を行い地域商工業をPRする。	インターネットモールとして「ながくて商店街」を運営し、登録会員事業所のこだわり・自慢・オススメを紹介した。最新情報をいち早く提供することで、参加登録店のPRと地域事業者の活性化を図った。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）	指標 登録店数 (達成度 98.8 %)	指標 (達成度 %)	参加登録店の窓口・案内役として、市内外の方々へ多くの情報発信ができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 下げる	目標② -	実施方法を変更し、目標は下げる。情報を素早く提供できるよう「ながくて商店街」をリニューアルし、登録店の再募集を行い最新情報の提供に努める。		
地域振興事業 （子ども商店街事業）	市内の子どもたちに一般的な“商売”である商品の製造・仕入から販売までを実体験してもらおうことで、商売とは何か、その厳しさや楽しさを知ってもらおう。	開催方法をオンラインに変更して実施。実施場所はオンライン上での視聴だが、質問などを受け付け参加型にすることで子供たちの成長を促した。青年部員が9月頃から市内の事業所取材し配信の準備をした。第1回パン屋:11/15、第2回大工:12/12の2回開催。長久手市内小学生延103人が視聴した。	小規模事業者を中心とする市内商工業者ならびに市内小中学生	指標 参加者数 (達成度 147.1 %)	指標 (達成度 %)	子ども達に向けて青年部活動や青年部員の事業、協力事業者の仕事内容などを紹介することで、地元での消費につながり地域経済の発展に寄与できた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	コロナウイルス感染症対策に努め、現行通り実施する。 R2年度好評であったオンライン子ども商店街については新事業としてR3年度も実施する。		
観光振興事業 （イベント支援事業）	地域内事業者がモリコロパーク等で開催されるイベントに参加する。来場された方々をもてなしながら同時に長久手市をPRし、地域事業者の活性化を図ることを目的とする。	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）ならびに住民	指標 出店延件数 (達成度 - %)	指標 (達成度 %)	-	総合評価 -	事業評価 -	自己評価 -	調査結果 -	満足度 -	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	コロナウイルス感染症対策に努め、現行どおり実施する。		
青年部・女性部事業	青年部及び女性部員間での交流や部活動等で、部員事業の活性と本人の健康の増進を図る。また、社会福祉等を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	地域貢献として街の清掃活動を行った。まつり等の中止を受け地域活動は中止した。講習会は中止した。	小規模事業者を中心とする青年部・女性部員	指標 部員数 (達成度 81.4 %)	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から多くの活動を中止したが、地域貢献活動を行うことで美しい街づくりに寄与できた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 下げる	目標② -	目標数値は下げるが、実施方法は現行どおりとし部員の加入促進に努める。		
福利厚生事業 （会員親睦ゴルフ大会）	会員事業者を対象にゴルフ大会を行い、事業者の福利厚生に寄与するとともに会員同士の交流親睦を図る。	3月25日ゴルフ大会を開催した。終了後の表彰式は中止したが、順位を出す競技形式とすることで参加者の意識の共有を図り親睦につなげた。	小規模事業者を中心とする地域内事業者（商工会員）	指標 参加者数 (達成度 95.0 %)	指標 (達成度 %)	ゴルフの大会を通じて、会員同士の交流親睦を図るとともに事業者の福利厚生に寄与した。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	コロナウイルス感染症対策に努め、現行どおり実施する。		
福利厚生事業 （中小企業等共済事業）	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度を普及推進。企業の健全な育成に資することを目的とする。	定期的に各種共済（小規模企業共済・倒産防止共済・特定退職金共済・中小企業退職金共済・中小企業共済等）の推進を行った。小規模事業者のニーズにあった商品を巡回窓口指導時等に制度説明することで加入促進を図った。	小規模事業者	指標 加入者数 (達成度 107.0 %)	指標 (達成度 %)	企業者の事業にあった共済制度を勧め、共済加入で事業主の生活安定と雇用対策・労務改善等を行うことができた。また共済の収益事業により商工会の自己財源確保に効果があった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	現行どおり実施。各種共済の加入促進を勧め事業者の経営の安定化を図る。		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他、労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業事業者の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務組合としての委託業務を実施した。年度更新：概算保険料及び確定保険料の申告・納付3期ごとの保険料徴収及びその納付委託、委託解除及び各種変更手続き	小規模事業者を中心とする地域内事業者	指標 委託事業者数 (達成度 107.0 %)	指標 (達成度 %)	事業主の委託を受けて労働保険の事務を処理する事で、事業主の事務軽減につながった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	現行どおり実施。事業主の行うべき事務処理の負担軽減を図るための事業として、今後も利用者の拡大にあたる。		
部会・委員会	商業、工業の各部会、NMC委員会（青年部OB）の活動・研修事業等で、市内事業者の活性化を図る。	・NMC委員会 3回 ・部会 4回	小規模事業者を中心とする商業・工業部員・NMC委員	指標 部会等開催数 (達成度 35.0 %)	指標 (達成度 %)	各種イベントの中止を受け、例年の地域振興は実施できなかったが、部会等でコロナ対策をしながら地域活性化策について議論し、それぞれの事業者の意識づけを行うことができた。	総合評価 C	事業評価 C	自己評価 C	調査結果 C	満足度 B	補足 -	目標① 現行どおり	目標② -	コロナウイルス感染症対策に努め、現行どおり実施する。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。